

第 21 回日本生命倫理学会年次大会

公募シンポジウムの進行方法について

今大会における公募シンポジウムの基本的な形式について、大会実行委員会において以下のように指針を検討致しましたので、オーガナイザーの方は企画構成の参考にして頂きますよう、お願い致します。

- ・ ディスカッションの時間を十分にとるために、個別の発表時間(オーガナイザーによる問題提起や導入を含む)の合計は、シンポジウム全体(90分)の半分から多くとも三分の二程度までを予定して下さい。
- ・ オーガナイザーは、討論や質疑応答の際に論点を整理し、明確に聴衆に伝えるよう努めて下さい。
- ・ 質疑応答は、シンポジスト同士だけでなく、会場からの質問時間も十分に取るようにして下さい。
- ・ 後日の学会ニューズレターにおける「座長報告」につきましても、各々の発表要旨だけでなく当日の議論の状況と論点のまとめ等を報告して下さい。

以上、何かご不明の点がございましたら、大会事務局 be2009@toyoeiwa.ac.jp までお問い合わせ下さい。

2009年5月

大会長 大林 雅之 (東洋英和女学院大学)